



祝！金銀メダル パリ2024大会

JCCG アンバサダー

ときと

小田 凱人選手



追い込まれるほどに強く

プロ車いすテニスプレーヤーでJCCGアンバサダーの小田凱人（ときと）選手（18）が、2024年8月～9月にかけてフランスで開催されたパリ2024パラリンピック競技大会に初出場、車いすテニス男子シングルスで金メダルに輝きました。

決勝戦では、序盤優勢な試合展開だったものの、第2セット以降は相手のショットの精度が上がり激戦に。最終の第3セットも相手にリードされ、マッチポイントまで追い込まれました。しかしここからが小田選手の真骨頂。一球ごとにスタンドを鼓舞し、拍手や声援も味方につけます。



©日本パラリンピック委員会



パリに響くトキトコール

力強いバックハンドを効果的に決めるなどし、一気に逆転。「決してあきらめない」。普段からの言葉通りセットカウント2-1で競り勝ち、金メダルを獲得しました。18歳での金は、この種目の最年少優勝記録です。小田選手は男子ダブルスでも銀メダルを獲得しました。

小田選手の名前の「凱」という文字には、パリの凱旋門にちなみ、「勝ちどきを上げる」という意味が込められています。彼を応援し、讃える「トキトコール」は、その快拳とともに、多くの人々の心に刻まれました。

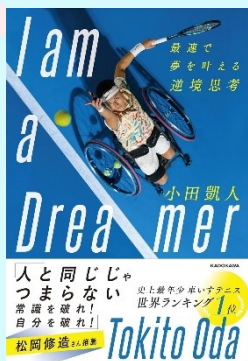


JCCG と小田選手

小田選手は、9歳（小3）のときに骨肉腫にかかり左足の自由を失いました。入院中にパラスポーツの存在を知り、「やりたい！」と情熱がわいたのが車いすテニスだったそうです。ベッドの上でも素振りをしたり、病院の車いすでも練習したり、力をつけてきました。

今は「病気の経験は悲劇ではなく転機だった」ととらえ、「世界一のプレーヤーになる」という夢ともうひとつ、「子どもたちに希望を持ってもらえたら」という強い思いを抱いています。

「自分と同じような治療やリハビリをがんばっている子どもたちが少しでも元気になれるきっかけを届けたい」と、全国で小児がんの治療研究をするグループ・JCCGのアンバサダーを引き受けてくださいました。



著書のプレゼント!!

～僕はドリーマー！～

小田選手、出版社KADOKAWAのご厚意により、JCCGを通して小田選手の著書「I am a Dreamer」8冊が病院や子どもたちにプレゼントされました。

本の企画に携わった編集者の宮本京佳さんは、「夢を持つことの大切さを知ることができる本なので、できるだけ多くのお子さんに読んでもらえたら」と話しています。



医師らも声援!! ～木下オープン2連覇!～



9～10月に有明コロシアム・有明テニスの森公園コート（東京）で開催された「木下グループジャパンオープンテニスチャンピオンシップス2024」でも小田選手は優勝を飾り、同大会二連覇を達成しました。JCCGの医師らも応援にかけつけ、小田選手のエネルギーあふれるプレーを実感しました。JCCGはこれからも小田選手を「トキトコール」で応援します。

